

令和元年度 市民協働推進事業の採択事業を紹介します！

市では、市民による公共の利益の増進を目的とした活動を支援し、協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体等から提案された事業に補助金を交付する「市民協働推進事業」を実施しています。

5月29日（水）、令和元年度市民協働推進事業選考委員会（早川浩之委員長）が開催され、申請のあった12件の全ての事業が採択されましたので、その概要を紹介します。



テーマ設定型事業 （協働担当課が設定したテーマに基づき、市民活動団体等と市が協働することにより、高い成果が期待できる事業。）

テーマ	事業名	申請団体 (協働担当課)	補助額	概要
支障木伐採支援	セーフティ・グリーン・プロジェクト Part2	三ツ割鉢の皮振興会 (道路管理課)	40万円	住民有志だけでは管理が追いつかない支障木の伐採を市と自治会が協働で行うことで、地域住民の防災・安全意識の向上を図るとともに、台風や積雪等により発生する倒木被害や山火事を地域住民の手によって未然に抑制するためのモデル事業とする。
NPOによる町内会・自治会活動支援の仕組みづくり	みんなで育む地域づくりプロジェクト～step3～	もりおかNPO連絡協議会 (市民協働推進課)	50万円	コミュニティ活動の活性化を図るため、担い手セミナーや情報交換会を実施するほか、町内会・自治会の運営に直接携わり、個別具体的な課題の解決を支援する。また、今後も持続的に活用可能な、NPOによる支援体制の仕組みづくりについて検討・提案する。
「誰もが活躍できる職場づくり」のための管理職マネジメント支援	イクボス拡大促進事業	いわてライフキャリアラボ (男女共同参画推進室)	99,166円	イクボス育成への理解促進と、実践者を増やすことで、市民の仕事と生活の両立などを図ることを目的に、NPO法人ファザリングジャパン東北と協力体制を取り、イクボス養成出前講座を実施する。
選挙における投票行動につなげる主権者意識の醸成	盛岡市中高生の未来可能性創出事業（主権者教育）～投票行動と地元への意識醸成	ドリーム・シード・プロジェクト会 (選挙管理委員会事務局)	50万円	多くの選挙が予定されている本年に、投票率が低い40歳代以下の若い世代を中心に全世代における投票率の向上、そして政治への参加意識の醸成を行うべく、中高生を中心とした主権者教育のセミナー、イベントを開催する。
青年期・壮年期の働き盛り世代の運動習慣定着に向けた取り組み	働き世代のグッドスポーツグッドコミュニケーション	(一社)盛岡市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 (健康増進課)	464,000円	働き世代の運動習慣定着のきっかけを作り、主体的かつ継続的な健康増進活動の支援を目的に、誰もが気軽に参加できるスポーツ体験会を複合的に展開する。また、ホームページの整備やリーフレットの作成を行い、市内の総合型地域スポーツクラブのスポーツ活動状況を市民に情報提供する。

テーマ	事業名	申請団体 (協働担当課)	補助額	概要
震災記憶の風化防止と防災意識の向上	子ども防災リーダー育成・いのちの楽校プログラム	(特非) RAY of HOPE (危機管理防災課)	50万円	防災祭りや語り部お話しライブ、追悼行事などを多様な立場、年代の参加者とともに企画・実施する。これにより、子ども達に防災を教える・伝える側になってもらう「子ども防災リーダー」育成の基盤づくりを行う。
震災記憶の風化防止と防災意識の向上	ローカルガイドと一緒に学ぶ、復興の街の暮らしといまむかし	三陸みらいシネマパートナーズ (危機管理防災課)	50万円	沿岸部の人々の暮らしや町並み、歴史資料に刻まれる災害の痕跡を宮古・釜石のローカルガイドとともに巡ることにより、沿岸部の復興や防災の実相を共有する。また、盛岡市内でも、しえあハート村や公共施設等にて映像などを活用したバーチャルガイドツアーを実施する。

昨年度実施された
事業の様子
(テーマ設定型事業)

【実施団体】
三ツ割鉢の皮振興会

地域住民の手で
雑木の伐採を行い、
安全意識の向上を
図りました。

協働事業 （市民活動団体等と市が協働することにより、高い効果が期待できる事業。）

事業名	申請団体 (協働担当課)	補助額	概要
保護猫預かりボランティア支援事業	(特非) もりねこ (生活衛生課)	50万円	猫の実質的な殺処分ゼロを継続しつつ、さらなる譲渡率増加を図るために、様々な施設で猫の譲渡会を含むイベントを開催する。これにより、猫に興味の無い市民にも市の保護猫の実態や愛護団体の活動を知る機会を提供するとともに、広く市民から預かりボランティアとしての協力者を募る。同時に、伴侶動物をペットショップではなく保健所や愛護団体から迎えるという選択肢があることを提示し、保護猫の更なる譲渡率増につなげていく。

昨年度実施された
事業の様子
(協働事業)

【実施団体】
(特非) もりねこ

保護猫を新たな
飼い主へつなぎ、
殺処分ゼロを
実現しました。